

24場出場予定選手&展望



戸田	7/19 ~ 24	決定力上位の浜田亜理沙が地元初V決める！
ヴィーナスシリーズ第9戦・日刊スポーツ杯		
◎	浜田亜理沙 守屋 美穂	女子トップレベルの旋回力を誇るのが浜田亜理沙。まだ地元水面での優勝はないだけに、決めたいところ。守屋美穂は今年3V。エンジン出しにさばきと総合力は高い。急成長を遂げている川井萌も果敢なハンドルで見せ場を作る。浜田以外にも地元勢は大豆生田蒼、清楚翔子、前田紗希と実力者がそろそろ。
○	渡邊 優美 川井 萌	
△	大豆生田蒼 宇野 弥生	
×	清楚 翔子 前田 紗希	
注	金田 幸子 樋口由加里	

桐生	7/15 ~ 20	君島秀三、高野哲史が桐生初優勝の大チャンス
にっぽん未来プロジェクト競走 in 桐生		
◎	君島 秀三 高野 哲史	25年後期適用勝率トップ3は君島秀三、高野哲史、鈴木博。君島、高野は意外にも当地でV実績がないものの、ビッグネーム不在の今回は大チャンスだ。記念定着を目指す近江翔吾、佐藤博亮も、一般戦なら派手な活躍をしたいところ。地元期待は大澤普司。地力アップした田中辰彦や岩永雅人も侮れない。
○	近江 翔吾 佐藤 博亮	
△	大澤 普司 鈴木 博	
×	渡邊 雄朗 中田 元泰	
注	田中 辰彦 岩永 雅人	

江戸川	7/20 ~ 25	上位接近戦だが底力アップ中の北山康介に期待
第25回スカットとさわやか杯		
◎	北山 康介 秦 英悟	主軸には地元の北山康介を推す。7月からの適用勝率は7.52をマークしておりキャリアハイの成績。当地戦も2度の優勝経験がある。ただ、最後に江戸川を走ったのは23年2月の地区選以来で、その時はFに散った苦い記憶がある。対抗格は秦英悟。4月の当地戦を皮切りに今年3Vと好調モードだ。
○	杉山 正樹 畑田 汰一	
△	村上 遼 石渡翔一郎	
×	高田 明 上田 龍星	
注	松尾 充 久永 祥平	

桐生	7/24 ~ 29	優出ラッシュの田中和也金子拓矢は地元で好気合
第22回スカットとさわやか杯		
◎	田中 和也 金子 拓矢	田中和也は1月の大村、2月の若松、5月の尼崎で優勝。今年はすでに2桁の優出があり、好調をキープ。金子拓矢は5月の住之江でオール2連対Vの後、前回当地で優出5着とリズムは悪くない。攻撃の手を緩めない福来剛と北野輝季、4月のPGIマスターズで奮闘した北村征嗣、佐々木康幸もV圏内。
○	福来 剛 北野 輝季	
△	北村 征嗣 佐々木康幸	
×	前沢 丈史 吉田凌太郎	
注	櫻本あゆみ 高田ひかる	

江戸川	8/3 ~ 8	江戸川を得意とする強豪メンバーが大集結！
第34回アサヒビールカップ		
◎	石渡 鉄兵 佐藤 大佑	主力には『江戸川・鉄兵』はマストとして、もう一名は佐藤大佑を抜てき。今年1、4月に当地V。浮き沈みの激しいタイプだが、江戸川での伸び調整はツボにはまる。記念級を伸び一撃で飲み込む痛快レースに期待だ。遠征では江戸川で数少ないチルトマイナス調整で快速戦を展開する山口達也に注目したい。
○	山口 達也 西村 拓也	
△	岡村 仁 黒柳 浩孝	
×	塩田 北斗 須藤 博倫	
注	新田 雄史 加藤 政彦	

桐生	8/2 ~ 7	宮之原輝紀がVを量産中一般戦で軸となる秋元哲
第47回デイリースポーツ杯		
◎	宮之原輝紀 秋元 哲	宮之原輝紀が5月の徳山、6月の児島、多摩川GⅢイースタンYで3節連続Vを決めるなど、各地平場で力の違いを見せつけている。秋元哲は前回の周年で準優4着、選抜戦1着と善戦。伸び仕様の藤山翔太、成長株の原田才一郎も魅力的だ。安定感では重野哲之、池永太が一歩リード。
○	重野 哲之 池永 太	
△	藤山 翔太 原田才一郎	
×	川原 祐明 渡邊雄一郎	
注	東本 勝利 三浦 敬太	



戸田	7/12 ~ 15	地元島田賢人に期待も激戦必至！
アーリー・タイムズカップ		
◎	島田 賢人 山口 達也	近況の戸田では常に優勝争いに参加している島田賢人。調整がうまくいっており、安定感が光る。好メンバーがそろっているが、地の利を生かす走りに期待。今年3Vと安定しているのが山口達也。上田龍星は直線系を仕上げるスタイルで当地は好相性。決定力ある渡邊和将にも注目。青木蓮は昨年当地で2V。
○	江口 晃生 上田 龍星	
△	岡村 慶太 渡邊 和将	
×	坂口 周 高倉 和士	
注	金子 賢志 青木 蓮	

24場出場予定選手&展望

レース場担当者

桐 生：スポーツ報知・佐々木伸
戸 田：ガイド・長谷川
江戸川：ガイド・野添
平和島：ガイド・長船
多摩川：ガイド・吉田
浜名湖：MOCHI
蒲 郡：スポーツ報知・太田和良

多摩川 7/25 ~ 29

第21回日本財団会長賞

◎	宮之原輝紀	徳増 秀樹
○	松本 純平	木村 仁紀
△	白神 優	東本 勝利
×	丹下 将	田中 豪
注	藤山 雅弘	渡辺 真至

今年早くもV5と好ペースの宮之原輝紀が主役

今年5回の優勝と好ペースでVを量産する宮之原輝紀が不動の中心。直近の多摩川参戦は6月のイースタンヤングで、予選をトップ通過から準優、優勝戦もインから王道の逃げを決めている。対抗格となるのは卓越したスタート力と整備力を誇る徳増秀樹。近況力をつけている松本純平も見逃せない。

平和島 7/11 ~ 16

第39回東京スポーツ賞 ~平和島マスタース~

◎	西山 貴浩	笠原 亮
○	深川 真二	福来 剛
△	金子 拓矢	三嶋 誠司
×	黒井 達矢	前沢 丈史
注	中島 秀治	河村 了

西山貴浩が参戦、笠原亮と深川真二は当地好相性

記念ロードの合間を縫って西山貴浩が登場する。当地への参戦機会が少ない分、水面実績には乏しいが、持ち味とする攻撃的な走りでファンを魅了するだろう。当地戦を連覇中の笠原亮、ダービーV歴を誇る深川真二は水面との相性も良く、奮起必至。地元勢では福来剛、前沢丈史がV候補に名乗りをあげる。

浜名湖 7/17 ~ 22

デイリースポーツ杯

◎	前田 滉	林 美憲
○	松下 一也	山田 哲也
△	内堀 学	石原 翼
×	長岡 良也	鈴谷 一平
注	谷津 幸宏	山田 雄太

浜名湖と相性◎の前田滉と林美憲がしのぎを削る

前田滉は20年以降、当地を6節走り5優出3優勝で目下2連続V。林美憲は20年以降の4節全て優出して前回(昨年3月)V。ともに水面実績は抜群で、互角のV争いを展開する。松下一也と山田哲也、名うての速攻派が2人に負けじと好勝負を挑む。近況、地元で苦戦が続く石原翼の奮闘にも期待したい。

平和島 7/21 ~ 26

トランスワートトロフィー 東京大阪福岡三都市対抗戦

◎	濱野谷憲吾	西村 拓也
○	渡辺 浩司	塩田 北斗
△	岡村 仁	飯山 泰
×	福島 勇樹	水摩 敦
注	奈須 啓太	小林 泰

エース濱野谷憲吾が登場 東京支部の屋台骨を支える

恒例の『三都市対抗戦』。個人優勝争いと共に東京、大阪、福岡の3支部によって争われる総合優勝の行方にも注目が集まる。今回は地元のエース・濱野谷憲吾が参戦して東京の得点源。大阪では西村拓也、福岡では渡辺浩司が支部の中核に。岡村仁、福島勇樹はF禍の後だが底力があり、評価を落とせない。

浜名湖 7/26 ~ 31

★サッポロビールカップ

◎	笠原 亮	菅 章哉
○	中辻 博訓	市橋 卓士
△	河村 了	古賀 繁輝
×	作間 章	桐本 康臣
注	船岡洋一郎	山田 晃大

笠原亮が多士済々の遠征陣を迎え撃つ

笠原亮はひと頃の優出ラッシュを思うと、やや勢いに陰り。しかし、その実力は言わずもがな。今年初の地元戦で存在感を見せつけた。菅章哉はノーマル仕様に一撃仕様とチルトを自在に使い分けて魅了する。中辻博訓は20年以降の7節で6優出2優勝と浜名湖はドル箱。当然とばかりにV争いに食い込む。

平和島 7/29 ~ 8/2

BIGFAN平和島杯

◎	中澤 和志	君島 秀三
○	青木 玄太	長岡 良也
△	内堀 学	中山 雄太
×	吉永 則雄	土屋 千明
注	中野 希一	今井 裕梨

当地実績上位の中澤和志 君島秀三はリベンジへ

ベテランの域に入った中澤和志だが、一般戦なら優出頻度は高く安定感上位。当地実績でも他をリードする。君島秀三は前回戦において優出1枠と好走したが、惜しくもVならず。そのリベンジを誓う。中間世代では青木玄太、長岡良也に注目。内堀学は伸びをつけてパワー勝負、パンチ力がある走りに注目を。

蒲郡 7/19 ~ 24

ルーキーシリーズ第12戦 スカパー！・JLC杯

◎	佐々木完太	常住 蓮
○	中村 泰平	前田 翔
△	砂長 知輝	中野 仁照
×	濱野 斗馬	前原 大道
注	大場 恒季	中山 翔太

佐々木完太を始め強力な遠征勢を地元勢が迎撃！

佐々木完太は5月の平和島MB大賞をまくり差して優勝。22年の誕生祭に続く2回目のGⅡ戦を制した。当地での優勝歴もあり力強い走りを見せつける。常住蓮は今年3Vと地力強化が著しい。対する地元勢もA1級キープに成功した中野仁照に加え、7月から返り咲いた中村泰平、前田翔が迎え撃つ。

多摩川 7/16 ~ 20

第63回スポーツニッポン賞

◎	服部 幸男	丸岡 正典
○	山本 寛久	後藤 翔之
△	桐本 康臣	石塚 久也
×	吉田凌太郎	永井 源
注	山田 竜一	杉田 篤光

服部幸男、丸岡正典のダービー覇者がリード

服部幸男、丸岡正典のSG覇者がシリーズを牽引する。多摩川では記念V歴がある服部が中心だが、丸岡も当地との相性も悪くなく互角の戦いを演じることが出来る。この両者に割って入るのは誰か。レース運びの巧みな山本寛久、石塚久也にまず目が行く。地元では後藤翔之、山田竜一に注目。



津	7/12～15	関門の巨人・ 白井英治が登場
日本トーターカップ		昨年11月尼崎G I 準優のFにより、G I 除外となっている白井英治。それだけに一般戦でも必死になって勝ちに行く。津の調整においては河合佑樹の方が一枚上か。萩原秀人、海野康志郎がテクニク勝負を挑む。地元勢では安達裕樹のパワー戦に期待がかかる。水面巧者の有賀達也もV候補一角を占める。
◎	白井 英治 河合 佑樹	
○	萩原 秀人 海野康志郎	
△	永田 啓二 安達 裕樹	
×	村上 遼 木村 仁紀	
注	榎 幸司 有賀 達也	

蒲郡	7/31～8/5	G P Vの実績持つベテランに G I Vの女子が挑戦
きょうも、あなたと 名鉄バス杯争奪戦		太田和美はG Pを含むS G 7冠、吉川元浩は4冠と数々の実績を残してきた。両者ともさばきはピカイチだけにシリーズをリードするか。女子のG I タイトルを持つ三浦永理と平高奈菜もV候補。他にも吉田俊彦、柳生泰二、安河内将らがV戦線を盛り上げる。地元では大須賀友、上田健太が果敢に攻める。
◎	太田 和美 吉川 元浩	
○	三浦 永理 平高 奈菜	
△	吉田 俊彦 柳生 泰二	
×	安河内 将 金子 賢志	
注	大須賀 友 上田 健太	

津	7/18～21	菊地孝平が圧巻の攻略へ
JPF杯		3月の常滑G I 出走以降、依然としてG I、S G戦線から除外期間が続いている菊地孝平。それでもF休み明け後は2回の優勝と記念復帰へ牙を研いでいる。盟友・坪井康晴との競演でトップ戦線への思いは一層募るだろう。この静岡コンビに下出卓矢、吉川貴仁が空中戦を展開。派手な打ち合いに期待だ。
◎	菊地 孝平 坪井 康晴	
○	下出 卓矢 吉川 貴仁	
△	石川 真二 谷村 一哉	
×	古結 宏 西丸侑太郎	
注	大場 敏 鳥居塚孝博	

常滑	7/15～20	地元エース北野輝季が◎ 小池修平も好勝負必至
INAX杯争奪 第37回とこなめ大賞		G III戦らしくA 1級選手が多数参戦して激戦ムード。それでも地元エース格の北野輝季が主役の座は譲らない。的確なコーナー戦で一步リードする。多彩な攻撃パターンを持つ小池修平が好勝負。経験豊富な平田忠則・杉山裕也も差はないだろう。攻め豪快な下寺秀和、捌き俊敏な松尾拓とV圏内の選手は多い。
◎	北野 輝季 小池 修平	
○	平田 忠則 杉山 裕也	
△	下寺 秀和 松尾 拓	
×	山田 祐也 小野 達哉	
注	松本 純平 浜先 真範	

津	7/29～8/1	スタート攻める 松村敏が中心
津PR第2戦 熱いぜ！夏男大集合		松村敏が驚異的なスタート戦を連日展開するか。コース不問で一番槍をスリットへぶち込む。今年3Vはすべて地元の尼崎でマークしている藤岡俊介が逆転一番手へ。この両者を追いかけるのが杉山正樹や野中一平ら愛知勢だが、栗城匠もパワフルなレース運びで急接近。売り出し中の中山翔太も初Vへ照準。
◎	松村 敏 藤岡 俊介	
○	杉山 正樹 栗城 匠	
△	高野 哲史 野中 一平	
×	江夏 満 村岡 賢人	
注	長尾 章平 中山 翔太	

常滑	7/28～8/2	中野仁照が地元勢けん引 中村日向・常住蓮V射程
オール進入固定RS 第13戦スカパー第27回JLC杯		3月のオール進入固定ルーキーシリーズを制したのは西丸侑太郎。チルトを跳ねて仕留めたが、その節は4枠の選手がチルトを跳ねる事が多かった。今回もある手の手で勝利を狙う。地元勢が強力布陣。頭角を現し始めた中野仁照を始め、前田翔・仲道大輔が参戦。遠征勢では中村日向・常住蓮がV候補だ。
◎	中野 仁照 中村 日向	
○	常住 蓮 高橋 竜矢	
△	前田 翔 仲道 大輔	
×	西丸侑太郎 坂本 雄紀	
注	高井 雄基 安河内鈴之介	

三国	7/13～18	近況好調の久田敏之が 混戦模様を断つ！
住信SBIネット銀行賞		男女混合の6日間節。混戦ムード漂うメンバーも、近況好調の久田敏之が一步リードか。5月、6月と優勝を重ねており、今年の2月に当地参戦時は優出も果たしている。24年のオールスターでS G制覇を成し遂げた定松勇樹は、フライング持ちも地力は上位。当地相性の良い田中和也も上位争いに加わる。
◎	久田 敏之 定松 勇樹	
○	田中 和也 市橋 卓士	
△	平尾 崇典 前田 将太	
×	大峯 豊 入海 馨	
注	白水 勝也 石田 政吾	



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

常滑：とこなめ情報 土井勇士
津：中日スポーツ・高橋
三国：実況アナウンサー・高橋敬亮
びわこ：サンケイスポーツ・倉橋智宏
住之江：安達弘持
尼崎：日刊・北條直治

住之江 7/21 ~ 26	
第36回アサヒビールカップ	
◎	湯川 浩司 萩原 秀人
○	井上 忠政 和田 兼輔
△	柳生 泰二 池田 雄祐
×	黒野 元基 向後 龍一
注	中島 秀治 榎 幸司

地元の湯川浩司が存在感を示す

地元からはSG覇者の湯川浩司が参戦。通算64回の優勝経験があるように総合力は文句なし。優勝候補の大本命として地元ファンの期待に応えたい。対抗は萩原秀人。SGでも4回の優出経験があるように実力負けはない。井上忠政も気合十分。最近は大舞台での活躍も増え、ここでも楽しみな存在だ。

三国 7/22 ~ 27	
夏盛り！！三国観光産業社長杯	
◎	藤原 碧生 松崎祐太郎
○	佐藤 大介 藤堂 里香
△	藤山 翔太 安河内 健
×	妹尾 忠幸 松村 康太
注	刑部亜里紗 小坂 風太

思い切ったレースが魅力！藤原碧生に熱視線！

暑さが厳しい中でのレースが予想される男女混合戦。藤原碧生の走りに注目。4月に当地参戦時はオール3連対の成績で準優勝。スタートから道中見事なレースが目を見張った。今回こそ優勝を目指す。実績十分の松崎裕太郎や、混合戦でもスタートから攻める地元の藤堂里香にも期待大。

住之江 7/29 ~ 8/1	
第18回森下仁丹杯争奪戦	
◎	浜田亜理沙 長田 頼宗
○	小池 哲也 渡邊 優美
△	谷川 祐一 吉川 喜継
×	中岡 正彦 香川 素子
注	原田 秀弥 小坂 宗司

浜田亜理沙を筆頭に強豪女子レーサーが集結

浜田亜理沙、渡邊優美、香川素子など女子トップレーサーが参戦。総合力を評価して浜田が中心とみるが、男子顔負けのスピードターンを駆使する渡邊も好勝負は必至だ。男子ではSG優勝の実績がある長田頼宗が最上位。今年はV3と好調で一般戦なら格上の存在だ。小池哲也、原田秀弥は地元奮起に期待。

びわこ 7/18 ~ 23	
第12回中日スポーツ杯	
◎	鈴木 勝博 山本 隆幸
○	田頭 実 豊田健士郎
△	田口 節子 永井 彪也
×	今泉 友吾 深井 利寿
注	北川 潤二 香川 素子

鈴木勝博を軸に山本隆幸、田頭実らで混戦模様

出場メンバーでは最多の今年V4をマークする鈴木勝博。今回こそは当地初Vを飾りたいところ。7月からA1級復帰の山本隆幸はびわこ巧者の存在感を示すか。田頭実がF禍でB級陥落も名人位を獲得した湖面で本領の快速攻を連発へ。豊田健士郎や田口節子、永井彪也、深井利寿らもV争いに加わりそうだ。

尼崎 7/16 ~ 21	
につぼん未来プロジェクト競走in尼崎	
◎	松田大志郎 前田 篤哉
○	堀本 和也 古澤 光紀
△	尾上 雅也 東本 勝利
×	中岡 正彦 田中 豪
注	長尾 章平 佐々木翔斗

尼崎V経験がある松田大志郎に期待

松田大志郎は3月のGI周年以来の登場。それまで一般戦は3場所連続優出(V1)。相性のいい水面で優位に運ぶ。堀本和也は意外にも22年6月以来となる。3月のGI2(徳山MB大賞)を手にして腕を上げた。尾上雅也は当地優出経験もあり侮れない。中岡正彦、長尾章平、前田篤哉がV戦線に食い込む。

びわこ 7/30 ~ 8/4	
につぼん未来プロジェクト競走inびわこ	
◎	谷村 一哉 小坂 尚哉
○	鶴本 崇文 小野 達哉
△	吉川 貴仁 畑田 汰一
×	福島 勇樹 大澤 風葵
注	加藤 翔馬 前田 滉

当地V3の谷村一哉が中心もV戦線は激戦モード

4回目の当地Vを目指す谷村一哉がV戦線の中心とみるが、小坂尚哉、鶴本崇文、小野達哉ら近畿勢も差がなく伯仲ムード。当地とは好相性を誇る吉川貴仁、さらに畑田汰一もV候補の一角に挙がる存在だ。ともに前期はF2に泣いた福島勇樹、大澤風葵に加え、加藤翔馬、前田滉らも混戦に拍車をかけるか。

尼崎 7/24 ~ 29	
スポーツニッポン杯しらなみ賞競走〜まくって〜	
◎	石野 貴之 松井 洪弥
○	山崎 郡 渡邊雄一郎
△	杉山 裕也 永井 源
×	重成 一人 末永 由楽
注	板橋 侑我 庄司樹良々

大阪コンビが主導権を争う

実績十分の石野貴之、当地GI(近畿地区選)V経験がある山崎郡の大阪コンビが主導権を握る。杉山裕也は尼崎での印象は薄いが、序盤からペースを握る。重成一人は巧腕を発揮。板橋侑我は果敢なスピード戦でチャレンジする。松井洪弥は好エンジンを手にすることも多く伏兵となる。

住之江 7/11 ~ 16	
三都市対抗戦サンケイスポーツ創刊70周年GSS競走	
◎	木下 翔太 羽野 直也
○	北村 征嗣 栗城 匠
△	杉山 貴博 仲谷 颯仁
×	権藤 俊光 今井 貴士
注	渋谷 明憲 一瀬 明

三都市の精鋭が住之江で激突

大阪、東京、福岡の三都市による対抗戦。木下翔太は今年の地元戦では2優出。地元の大將格として大阪勢を団体優勝に導く活躍に期待だ。福岡勢はSG覇者の羽野直也が絶対的な中心。A級レーサーも多数でチームとしての総合力は高い。東京支部は栗城匠を筆頭に中堅からベテランまで層が広く集まった。



丸亀	7/12 ~ 15	新開航、辻栄蔵がシリーズを引っ張って行く
創刊70周年記念 サンケイスポーツカップ		5月の平和島GⅡMB大賞で準Vだった新開航、そのレースで優勝戦6着だった辻栄蔵がシリーズを引っ張っていく。柳沢一が自慢の速攻力で挑む。川原祐明が地元の意地をみせるか。女子レーサーが充実の顔ぶれ。5月常滑のGⅡレディースオールスターを制した浜田亜理沙、そして渡邊優美もV候補だ。
◎	新開 航 辻 栄蔵	
○	柳沢 一 川原 祐明	
△	浜田亜理沙 渡邊 優美	
×	山本 修一 秋山 広一	
注	武重 雄介 小山 勉	

尼崎	7/31 ~ 8/5	A1級不在で 群雄割拠のシリーズ
オールレディース競走 あまがさきピンクルカップ		竹井奈美は今年4月に戦線復帰。2、3節目で早くも優出するなど、乗りっぷりは健在だ。速攻なら樋口由加里も負けていない。地元の武井莉里佳にとってはチャンスと言える。走り慣れた水面で大暴れの予感。山本梨菜、戸数晃美もV戦線に肉薄。米丸乃絵はメンバー中で後期勝率がトップ。伏兵に抜擢する。
◎	竹井 奈美 米丸 乃絵	
○	樋口由加里 寺島 美里	
△	武井莉里佳 西村 歩	
×	山本 梨菜 豊田 結	
注	戸数 晃美 津田 裕絵	

丸亀	7/18 ~ 22	地元中村日向が断然のV候補 小坂尚哉が迫る
サッポロビールカップ2025		オールスターでは無念にも予選落ちとなった中村日向だが、最低限のノルマだったSG初勝利の水神祭は達成。その後は児島→芦屋ウエスタンヤングで連続Vを飾るなど絶好調を誇っている。今回も断然のV候補だ。小坂尚哉がスピード戦で挑む。武田光史、中辻博訓の福井両者がベテランの味を発揮する。
◎	中村 日向 小坂 尚哉	
○	武田 光史 中辻 博訓	
△	竹田 辰也 松山 将吾	
×	吉川 喜継 金子 和之	
注	野中 一平 谷川 祐一	

鳴門	7/19 ~ 24	断然のV候補は不在の 6日間シリーズ
第10回徳島バスカップ競走		個性派レーサーが揃う6日間シリーズは主力伯仲の戦い。序盤から激しいポイント争いとなりそうだが、機敏なレース運びが光る安達裕樹に、速攻戦が頼もしい松村敏を中心視。地元勢は成長著しい田中駿兵が遠征組を迎え撃つ。田中の背中を追いかけ地力アップのルーキー佐野優都にも注目。
◎	安達 裕樹 松村 敏	
○	坂口 周 里岡 右貴	
△	村岡 賢人 竹間 隆晟	
×	田中 駿兵 川原 祐明	
注	竹下 大樹 大橋純一郎	

丸亀	7/25 ~ 30	地元の平山智加が主役の座 清水愛海に注目
ヴィーナスシリーズ第10戦 蒼月まるるカップ		地元で迎えるヴィーナスシリーズ、平山智加は負けるわけにはいかない。狙うはもちろんVだが、最低でも優出は外せないところだ。細川裕子が勝負強さを発揮する。安定感抜群の寺田千恵、小野生奈、鎌倉涼もV戦線へ浮上。先のオールスターでSG初勝利をマークした清水愛海も無視できない存在。注目だ。
◎	平山 智加 細川 裕子	
○	寺田 千恵 清水 愛海	
△	小野 生奈 鎌倉 涼	
×	松尾 夏海 高懂 四季	
注	川野 芽唯 大瀧明日香	

鳴門	7/28 ~ 31	個性派レーサーのそろそろ 4日間の男女混合戦
第26回日本財団会長杯競走		衰え知らずの地力をキープする西島義則が速攻と俊敏プレーを兼備してVを狙う。藤原啓史朗は23年7月のびわこGⅡで完全優勝を決めた実績が光る。女子勢では地元の岩崎芳美が知り尽くした水面の利を生かして強敵男子に戦いを挑む。小芦るり華は軽快な立ち回りで上位進出を狙う。
◎	西島 義則 藤原啓史朗	
○	竹田 和哉 近江 翔吾	
△	飯島 昌弘 岩崎 芳美	
×	谷津 幸宏 下條雄太郎	
注	中嶋健一郎 小芦るり華	

児島	7/18 ~ 22	藤原啓史朗が 地元の意地を見せる
山陽新聞社杯		藤原啓史朗が今年V5で勢いに乗っている。地元は今年3戦3優出と安定感がある。持ち前の速攻力でシリーズを牽引する。田中信一郎は3月に走って途中帰郷したが、当地の実績高く堅実さばきで相手筆頭だ。西島義則はF2ハンデを背負った3月戦で優出。行き足を仕上げて上位争いに参戦する。
◎	藤原啓史朗 田中信一郎	
○	西島 義則 馬袋 義則	
△	伊藤 将吉 横田 貴満	
×	岡瀬 正人 金田 諭	
注	重木 輝彦 大須賀 友	



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

鳴門：報知・田代
丸亀：A
児島：S・O
宮島：B R 宮島専属記者 宮崎経督
徳山：日刊・洲上

宮島	8/3 ~ 8	センターからの一撃が V戦線を乱戦に巻き込む！	児島	7/24 ~ 29	平田忠則が堅実捌きで V戦線を引っ張る
第10回ポカリスエットカップ		出場選手の半数近くがA級レーサーと混戦必至の大会。主力は黒井達矢と平尾崇典、上田龍星の3本柱。この3者は今期勝率7点オーバーと高値安定。ただ全体に見るとアウトのスペシャリストである小川晃司や鈴木博に、地元の山下和彦と外から一撃が狙える選手も多く、予想の幅が広がる大会となりそうだ。	BTS岡山わけ開設4周年記念競走		平田忠則は今年初戦の若松を幸先よく優勝して勢い加速。9優出V2と安定感が光る。地元の山本修一は今年4戦目。優出こそ果たせていないが、低勝率機でも互角に仕上げる調整力で上位に名乗りをあげる。小池修平、吉田裕平の117期コンビは勝率7点アップと乗れており、脅かす存在となる。
◎	黒井 達矢 平尾 崇典		◎	平田 忠則 山本 修一	
○	上田 龍星 小池 修平		○	小池 修平 吉田 裕平	
△	山下 和彦 島田 賢人		△	山田 祐也 須藤 博倫	
×	岡村 慶太 赤坂 俊輔		×	石丸 海渡 田中 辰彦	
注	小林 泰 鈴木 博		注	中田 元泰 馬場 剛	

徳山	7/13 ~ 17	安河内健が 豪快な攻めで魅了する	児島	8/1 ~ 6	寺田祥が S G覇者の貫禄を示す
tysテレビ山口杯争奪戦		安河内健をV候補の筆頭に指名。唐津周年後にF休みに入り今節が復帰戦だが、徳山は前回に優出と水面相性は良く期待できる。湯川浩司、塩田北斗のグラチャン組も底力を発揮してV争いに参戦する。また、今節は男女混合戦で、女子では門田栞、深尾巴恵が見せ場を作りそうだ。	大阪スポーツ杯		寺田祥がV候補筆頭だ。今年は特別戦が続き優勝こそないが、一般戦となれば攻撃力の違いを見せる。海野康志郎は5月戦で優出。近況はペラ調整に正解を出して、重量級のハンディを感じさせない動きがあり好勝負。昨年グランプリシリーズを優勝した前田将太や飯山泰も速攻力を発揮して上位を争う。
◎	安河内 健 湯川 浩司		◎	寺田 祥 海野康志郎	
○	塩田 北斗 吉田 俊彦		○	前田 将太 飯山 泰	
△	須藤 博倫 和田 兼輔		△	渡辺 浩司 片橋 幸貴	
×	河野 大 白神 優		×	中村 晃朋 安河内 健	
注	門田 栞 深尾 巴恵		注	金子 和之 尾上 雅也	

徳山	8/1 ~ 6	菊地孝平が 貫禄の走りを披露	宮島	7/16 ~ 21	女子も男子も激戦必至の 6日間シリーズ
につぼん未来プロジェクト競走 in 徳山		菊地孝平は昨年グランプリでのFのペナルティで現在は一般戦が主戦。早いスタートと勝負強さは相変わらずで格の違いを見せてくれる。対するは一般戦の鬼と言える中辻崇人。今年は昨年の8Vを上回るペースでV量産。菊地との一騎打ちムードだ。徳山好相性の坪井康晴や、地元の武重雄介にも注目だ。	デイリースポーツ杯争奪男女W優勝戦		初日に女子、2日目に男子のドリーム戦を決行。女子のドリーム戦1枠は寺田千恵。ただ地元の海野ゆかりと實森美祐も好走必至で見応えある一戦となりそう。一方、男子のドリーム戦1枠は地元の船岡洋一郎。近況は地元水面で苦戦を強いられているが、この大会は巻き返しを狙って序盤から奮闘必至だ。
◎	菊地 孝平 中辻 崇人		◎	寺田 千恵 海野ゆかり	
○	竹井 貴史 坪井 康晴		○	大瀧明日香 實森 美祐	
△	深井 利寿 今泉 友吾		△	高嶋 四季 船岡洋一郎	
×	久田 敏之 長野壮志郎		×	飯島 昌弘 江夏 満	
注	武重 雄介 笹木 香吾		注	竹田 和哉 宮之原輝紀	



宮島	7/25 ~ 30	近況好調の浜先真範と 井本昌也が躍動する！
第15回みやじマリンカップ		男女混合の6日間決戦。主役に抜擢は地元の浜先真範。近況は瞬発力のある足に仕上げて、地元戦でもその足色は目立つ。勝手を知る水面なら威力は倍増と見ていいだろう。井本昌也は今年8優出V2と安定感が増しており、前期も6.82の自己最高勝率をマークと、まさに今が旬真っ盛りで大注目だ。
◎	浜先 真範 井本 昌也	
○	田村 隆信 前田 篤哉	
△	西橋 奈未 佐々木和伸	
×	村松 修二 荒井 翔伍	
注	深川麻奈美 小林 一樹	



若松	8/1 ~ 4	実績上位は柳沢一だが V争いは混戦ムード
ミッドナイトボートレース 第31回北九州市長杯		
◎	柳沢 一 入海 馨	実績面では抜けている柳沢一は3月の同じミッドナイト以来の当地参戦。この時はエンジン出しに苦しみながらも準優6号艇から見事に優出。格上と思わせるレースだった。入海馨は3月クラシック以来の参戦。3番手以降は混戦メンバーでもあり、エンジン抽選が明暗を分けそうなシリーズ。
○	重木 輝彦 岩永 雅人	
△	白水 勝也 宮田 龍馬	
×	池田 雄祐 田路 朋史	
注	宇佐見 淳 横田 貴満	

下関	7/17 ~ 20	さばき堅な中澤和志が 中心も混戦ムード
MNBR下関5th BOATBoyカップ		
◎	中澤 和志 安河内 将	今年も抜群の安定感で多くの優出を重ねる中澤和志。6月の地元戸田G・W節では6コースから鮮やかなまくり差しを決めて優勝するなどコース不問で上位着を築く。安河内将、高橋竜矢はスピードを生かして食い下がる。5月に若松で通算4回目の優勝を果たした地元の小林一樹の奮起にも期待。
○	高橋 竜矢 仲口 博崇	
△	若林 将 西野 翔太	
×	葛原 大陽 佐藤 航	
注	小林 一樹 山田 理央	

芦屋	7/18 ~ 23	当地SG・GI V歴ある 太田和美が主役
につぼん未来プロジェクト競走 in芦屋		
◎	太田 和美 中田 竜太	当地SG・GI覇者の太田和美が主役だ。特別戦での出番は減少気味とはいえ、住之江正月戦、5月浜名湖Vと地力は確かだ。中田竜太や谷野錬志のスピード自慢、当地5Vの赤坂俊輔、同3Vの重野哲之ら水面巧者もズラリ。地元の大将格今村暢孝はスロー水域からいぶし銀のさばきで魅了する。
○	谷野 錬志 赤坂 俊輔	
△	梶野 学志 重野 哲之	
×	今村 暢孝 寺本 重宣	
注	浅見 昌克 渡邊 翼	

下関	7/27 ~ 31	随一の速攻力を誇る 原田幸哉が主役を張る
オラレ下関オープン 11周年記念 山口新聞社杯		
◎	原田 幸哉 岡崎 恭裕	V候補筆頭は原田幸哉だ。17年1月には62周年記念、そして21年4月にはマスターズチャンピオンを制し、当地GI2Vと水面相性も抜群だ。ボート界随一の速攻力を生かして優勝をもぎ取る。スピードターンが魅力の岡崎恭裕、岩瀬裕亮も争覇圏。安定感光る林美憲もV争いに加わってくる。
○	岩瀬 裕亮 林 美憲	
△	森永 隆 山田 哲也	
×	石倉 洋行 堀本 和也	
注	角谷 健吾 横澤 剛治	

芦屋	7/29 ~ 8/3	松田大志郎と古澤光紀の 地元勢がツートップ
BTS高城開設27周年記念		
◎	松田大志郎 古澤 光紀	23年は7V、昨年は6Vと優勝を積み重ねる松田大志郎が、5月三国で今年初V。純地元の芦屋でペースを上げる。古澤光紀も芦屋は通算3Vと実績を残す水面で、地元2強がそのままツートップだ。モーターを仕上げる森永淳や決め手鋭い佐藤博亮や渡邊雄朗もV候補。市川哲也のS攻勢も衰えはない。
○	森永 淳 佐藤 博亮	
△	市川 哲也 渡邊 雄朗	
×	山本 隆幸 中村 泰平	
注	後藤 翔之 濱本 優一	

若松	7/14 ~ 17	瓜生正義が8月メモリアル のリハーサル
につぼん未来プロジェクト競走 in若松		
◎	瓜生 正義 末永 和也	8月の当地メモリアルにも出場する瓜生正義。当地一般戦は実に2年2か月ぶりの登場。昨年は9月の周年のみの出場で当地登場自体も実に約10か月ぶり。しっかり地元水面の感触を取り戻してほしい。末永和也は初優勝が当地の3Days。2年前には九州地区選でGI初優勝も飾っているドル箱水面。
○	柳生 泰二 井上 一輝	
△	尾嶋 一広 三浦 永理	
×	前田 聖文 松崎祐太郎	
注	魚谷 香織 鈴木 雅希	



若松	7/22 ~ 28	永田啓二、池永太ら 地元勢が充実の布陣
中間市行橋市競艇組合 施行56周年記念競走		
◎	永田 啓二 池永 太	地元のA1級が5人も参戦。こんなことは非常に珍しく、文句なしに地元勢でのV争いになりそう。当地では常にV争いをリードする永田啓二を筆頭に7回の優勝実績を誇る池永太、正月戦連覇の実績がある岡村慶太が3強だ。遠征勢では秋元哲と山口達也が、女子では今井美亜と長嶋万記が地元勢に挑戦状。
○	原田才一郎 岡村 慶太	
△	益田 啓司 山田 丈	
×	秋元 哲 山口 達也	
注	今井 美亜 長嶋 万記	



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

下 関：西日本スポーツ・岡部
若 松：スポーツ報知・井上誠之
声 屋：スポーツ報知・井上泰宏
福 岡：スポニチ・鳥飼
唐 津：報知・高木
大 村：報知・長谷

唐津	7/25 ~ 30	さばき巧者が多く 激戦ムード漂う
マスターズリーグ第4戦		グランドチャンピオン準優勝、一般戦4Vの上平真二が唐津巧者ぶりを発揮する。桐生マスターズリーグを含め今年3優勝の三角哲男も通算3Vで当地は好相性。石川真二と仲口博崇は内寄り奪取でV戦線をにぎわす。齊藤仁と山本寛久は攻め幅の広さが強めで鈴木博は年齢を感じさせないスピードがある。
◎	上平 真二 赤岩 善生	
○	三角 哲男 石川 真二	
△	仲口 博崇 丸岡 正典	
×	齊藤 仁 山本 寛久	
注	古結 宏 鈴木 博	

福岡	7/13 ~ 18	川野芽唯、小野生奈の 地元2強がシリーズけん引
オールレディース LOVE FM福岡なでしこカップ		ベテラン、中堅、若手と楽しみなメンバーが集まった。当地開催の女子戦は例年地元勢がシリーズを引っ張ることが多く、今回も川野芽唯、小野生奈を中心にシリーズリーダー争いが展開されそう。遠征勢では近況好調な細川裕子、土屋千明のほか、2期連続A1級をキープした清水愛海らに注目が集まる。
◎	川野 芽唯 小野 生奈	
○	細川 裕子 土屋 千明	
△	長嶋 万記 清水 愛海	
×	深川麻奈美 米丸 乃絵	
注	櫻本あゆみ 中谷 朋子	

唐津	8/2 ~ 6	唐津大得意の山崎郡が V争いをリードする
BTS三日月開設29周年記念		唐津2Vの山崎郡は登場するたび優出の安定感がある。71周年は最終日にF(全艇)を切りはしたが準優入り。シャープな攻めで着をまとめる。徳増秀樹、永田啓二は今年Vラッシュ。山崎にとっては強敵になるが、徳増は当地近況は苦戦ムード。稗田聖也と寶田亮治は高配の使者として注目。
◎	山崎 郡 永田 啓二	
○	徳増 秀樹 大峯 豊	
△	益田 啓司 金子 拓矢	
×	吉川 昭男 高田 明	
注	稗田 聖也 寶田 亮治	

福岡	7/23 ~ 28	海野康志郎を筆頭に好調 メンバー集結で激戦必至
にっぽん未来プロジェクト競走 in福岡		近況好調な選手がズラリと集まり、予選道中から激しい着争いになることが予想される。中心は今年3Vの海野康志郎か。博多は2連続優出中と相性の良さも強調できる。地元勢ではようやく底を脱した感がある高倉和士が大将格。例年苦手にしている夏場をいかに乗り切るか。手腕が試されるシリーズだ。
◎	海野康志郎 久田 敏之	
○	平尾 崇典 柳沢 一	
△	高倉 和士 大峯 豊	
×	柴田 光 吉川 昭男	
注	坂元 浩仁 片橋 幸貴	

大村	7/29 ~ 8/3	大混戦の女子は 堀之内紀代子がリードするか
男女W優勝決定戦 マンスリー BOATRACEカップ		男子は田中信一郎、深川真二が実力、格ともに抜けている。馬袋義則も底力は上位だ。原田篤志と西野翔太も当地相性はい。一方の女子はA1級不在でA2級も中田夕貴だけ。優勝候補となれば、6月若松ALで2年ぶりのVを飾った堀之内紀代子がリードするか。地元では西澤日花里、嶋田有里が奮起。
◎	深川 真二 堀之内紀代子	
○	田中信一郎 中田 夕貴	
△	原田 篤志 佐々木裕美	
×	馬袋 義則 西澤日花里	
注	西野 翔太 嶋田 有里	

福岡	8/1 ~ 6	新開航が2度目の当地 制覇へ前進あるのみ！
西部ボートレース記者クラブ杯		新開航は徳山オーシャンカップからの転戦。中4日のタイトな日程だが、地元大将格として主役の座は譲れない。デビュー2度目のVとなった18年11月以来の当地制覇を狙う。伊藤将吉は今年3月の当地戦で爆発的な動きを見せていたが、家事都合のため3日目に帰郷。前回の分まで今回は完全燃焼したい。
◎	新開 航 伊藤 将吉	
○	井上 一輝 中村 尊	
△	坂口 周 梶野 学志	
×	水摩 敦 向後 龍一	
注	竹田 辰也 山田 丈	



唐津	7/16 ~ 20	岡崎恭裕と岩瀬裕亮の ツートップの図式
第13回サッポロビールカップ		2月当地一般戦の岡崎恭裕は不良航法の減点で準優は3号艇。優出は逃してしまったが中堅の舟足でも存在感は示した。岩瀬裕亮は三国と津で今年2V。一般戦は抜群の安定感を誇る。青木玄太は長期欠場があったが実力は周知の通り。エンジンを出してくる荒牧風沙と蒲原健太は上位陣にとって侮れない存在。
◎	岡崎 恭裕 岩瀬 裕亮	
○	青木 玄太 石丸 海渡	
△	新田 泰章 麻生 慎介	
×	市川 哲也 西野 雄貴	
注	荒牧 風沙 蒲原 健太	